

平成24年12月12日

農林水産省食料産業局
外食産業室長 殿

社団法人 日本惣菜協会
会長 堀 富士夫



業務用国産米の供給について（要望）

日頃、中食・惣菜産業の健全な発展につきましてご指導頂き厚く御礼を申し上げます。

惣菜は、単身世帯の増加や女性の社会進出等に伴い、食の外部化が進む中、国民の「食のインフラ」としてその市場規模は8兆円を上まわっております。中食産業の中核団体である当協会の会員企業は、内食の代行業として、食生活において重要な役割を果たしてきており、スーパーマーケット、デパ地下、惣菜専門店、CVS への弁当・オニギリの供給等、米を扱っている事業者が多くを占めています。

23年産の国産米の市場価格は、22年産米に比較して約2割程度の高値で推移し、24年度産米は対前年比で102%の豊作にもかかわらず、更に2割弱高値で推移している現状にあります。中でも、特に業務用に使用される業務用国産米の値上がりが顕著となっています。

このように、昨年の震災以降続いている米価格の高騰が、①事業者サイドの原料コストを大きく上昇させ、経営を圧迫する等極めて厳しい状況となっていること ②消費者においても家計費の負担増となり、このままでは、ますます米離れに拍車がかかることが予想されます。

この原因は、①消費者、実需者がコメ価格の上昇により、銘柄米からやや安価な業務用米に移行したこと ②生産者が収量は低いものの単価の高い銘柄米の生産に励んだことにより業務用国産米の生産が減少したことによるものと考えられます。

我が国は、米を主食とした伝統的な食文化を持っており、そのバランスの良さが世界一の長寿国となっております。それが近年、家庭の米の購入量は年々低下し、家計調査によると23年度にはパンの購入額を下回るまでとなっております。

国産米から外国産米に切替えを余儀なくされ、海外の安価な米を輸入している事業者もあり、それによる食味低下や、盛り付け量を減少させることで対応している事業者もいる状況です。

以上のことから、業務用米の供給不足を解消し、アンバランスを是正するためにも、米政策を見直し、米生産農家に業務用米の増産を行って頂きますよう要望致します。

以上

平成24年12月12日

農林水産省生産局
農産部長 殿

社団法人 日本惣菜協会
会長 堀 富士夫



業務用国産米の供給について（要望）

日頃、中食・惣菜産業の健全な発展につきましてご指導頂き厚く御礼を申し上げます。

惣菜は、単身世帯の増加や女性の社会進出等に伴い、食の外部化が進む中、国民の「食のインフラ」としてその市場規模は8兆円を上まわっております。中食産業の中核団体である当協会の会員企業は、内食の代行業として、食生活において重要な役割を果たしてきており、スーパーマーケット、デパ地下、惣菜専門店、CVS への弁当・オニギリの供給等、米を扱っている事業者が多くを占めています。

23年産の国産米の市場価格は、22年産米に比較して約2割程度の高値で推移し、24年度産米は対前年比で102%の豊作にもかかわらず、更に2割弱高値で推移している現状にあります。中でも、特に業務用に使用される業務用国産米の値上がりが顕著となっています。

このように、昨年の震災以降続いている米価格の高騰が、①事業者サイドの原料コストを大きく上昇させ、経営を圧迫する等極めて厳しい状況となっていること ②消費者においても家計費の負担増となり、このままでは、ますます米離れに拍車がかかることが予想されます。

この原因は、①消費者、実需者がコメ価格の上昇により、銘柄米からやや安価な業務用米に移行したこと ②生産者が収量は低いものの単価の高い銘柄米の生産に励んだことにより業務用国産米の生産が減少したことによるものと考えられます。

我が国は、米を主食とした伝統的な食文化を持っており、そのバランスの良さが世界一の長寿国となっております。それが近年、家庭の米の購入量は年々低下し、家計調査によると23年度にはパンの購入額を下回るまでとなっております。

国産米から外国産米に切替えを余儀なくされ、海外の安価な米を輸入している事業者もあり、それによる食味低下や、盛り付け量を減少させることで対応している事業者もいる状況です。

以上のことから、業務用米の供給不足を解消し、アンバランスを是正するためにも、米政策を見直し、米生産農家に業務用米の増産を行って頂きますよう要望致します。

以上